

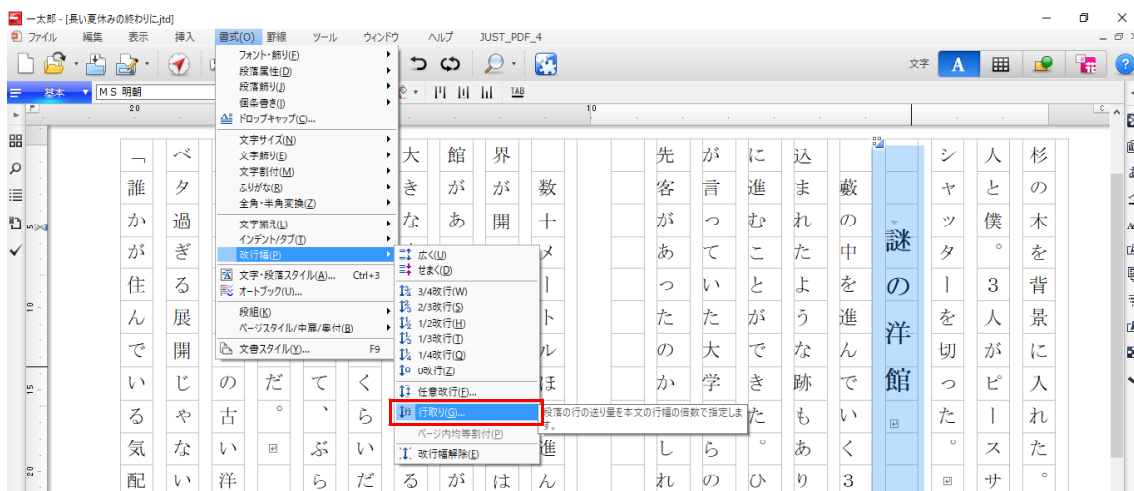
【一太郎 2019 編】

行取りで小説などのレイアウトを美しく整えるマル秘テク

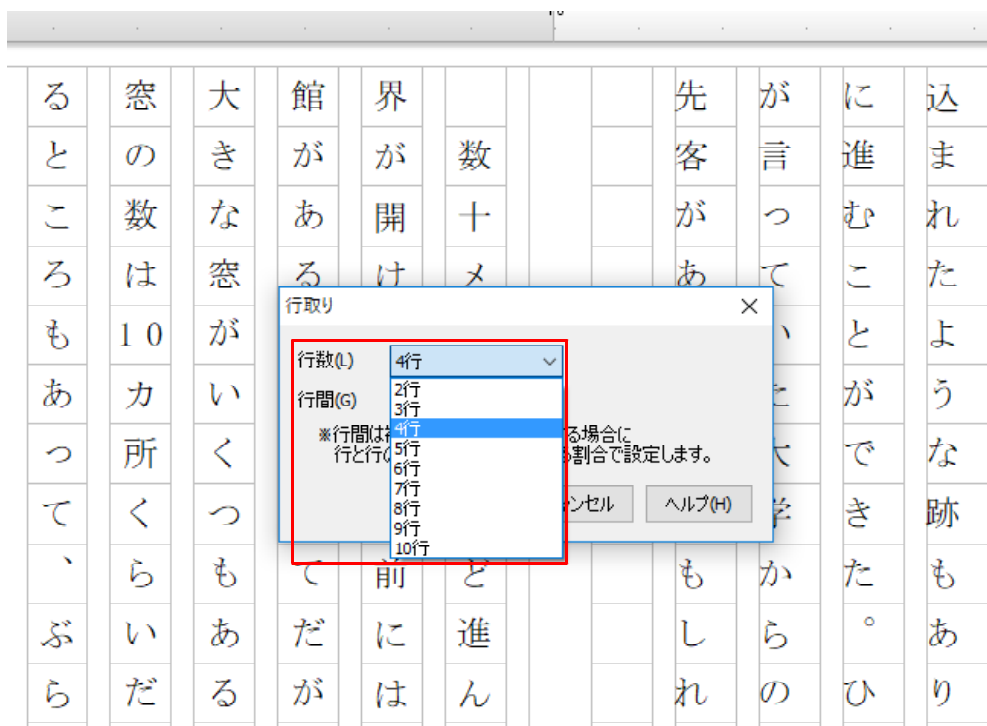
小説・論文などの文書を仕上げる際に、本文と異なる文字サイズで章タイトルや見出しを設定すると、次の行が当初の位置からずれてしまい、他ページや上下の段と揃わなくなることがあります。一太郎 2019 で登場した「行取り」は、本文の何行分に相当するかを指定して、その中央に見出しを配置する機能です。本文の行を基準にして、文書全体で行の位置がぴったり揃うので、文書が整った仕上がりになります。

●行取りを設定する

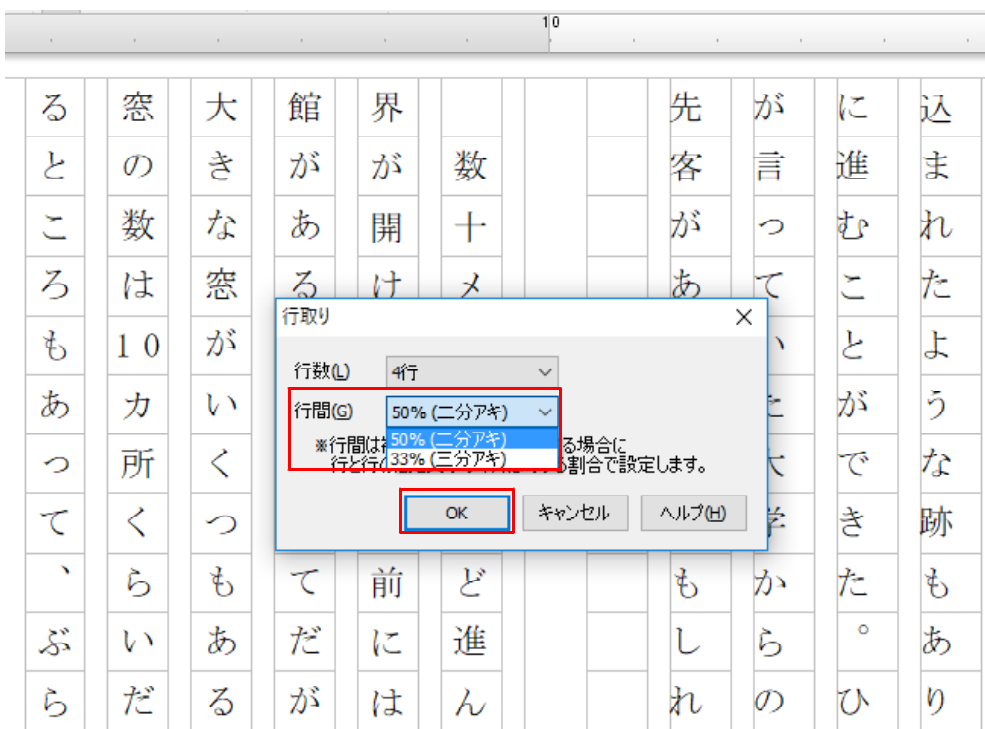
1. 行取りを設定したい段落を範囲指定し、[書式－改行幅－行取り] を選択します。



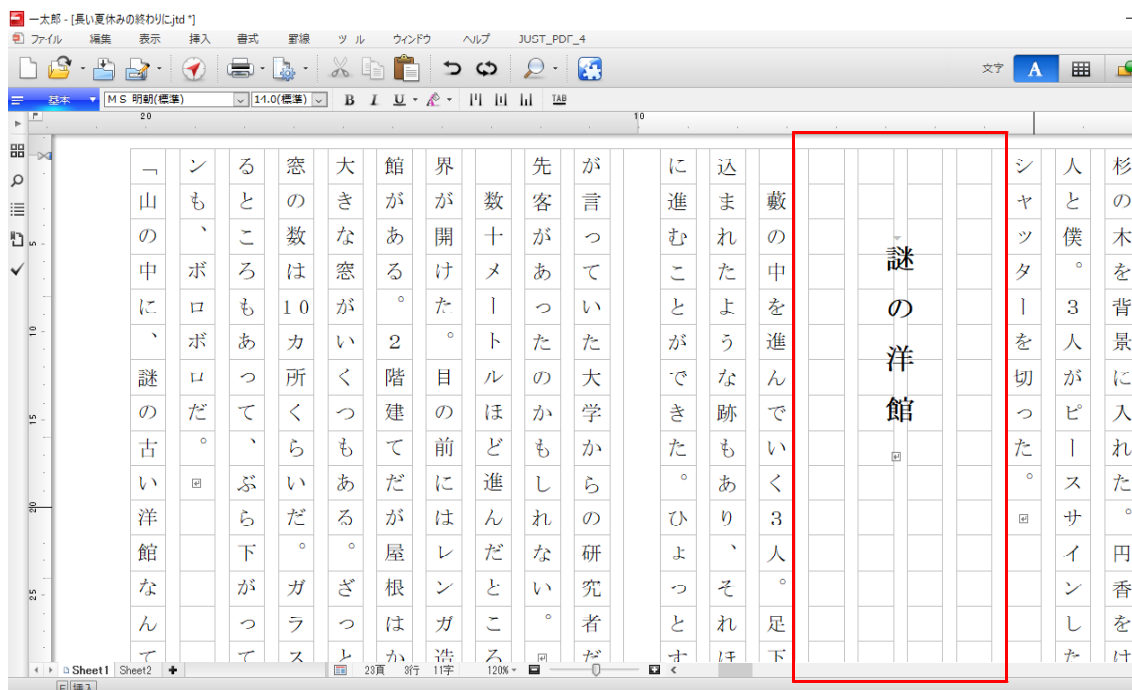
2. [行数] で、何行分を使うのかを指定します。ここでは「4行」を選択しています。



- ↓
3. [行間] で、行取りした段落が複数行になった場合の行間を指定します。[50 % (二分アキ)] または [33 % (三分アキ)] のいずれかを選択して [OK] をクリックします。

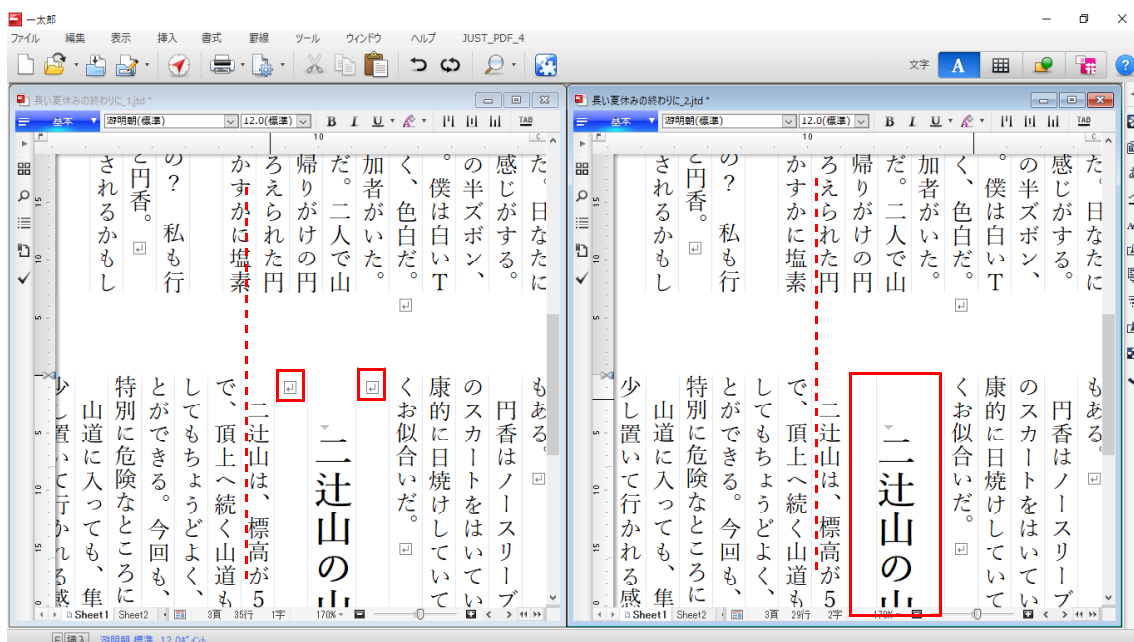


- ↓
4. 行取りが設定され指定した行数分の、中央に配置されます。ここでは、本文 4 行分を使い、その中央に見出しが配置されました。



●段組文書の行の位置もキレイに揃う

右の画面は「3行取り」を設定しています。段組文書で、行の位置が揃います。左の画面は見出しの前後に改行を挿入しました。行の位置はズレてしまいます。



●複数行の行間のアキを設定

6行取りを設定しました。上の画面は [50 % (二分アキ)]、下の画面は [33 % (三分アキ)] の行間を設定しています。

